

漁港第 259 号
令和8年(2026年)6月15日

一般社団法人 北海道水産土木協会会長 様

水産林務部水産局漁港漁場課漁場事業担当課長

水産基盤整備事業(漁場)設計積算基準(令和7年10月版)の
一部改定について

このことについて、別添のとおり一部改定しましたのでお知らせするとともに、貴協会会員各位への周知についてご協力願います。

記

1 適用

令和8年8月1日以降積算基準日の工事に適用する

漁場整備係
担当: 太刀川

(2) 機種の設定

仮設材の持ち上げ（下げ）機械は、次表を標準とする。

	機 械 名	規 格
Pタイプ	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制) 山積/平積 0.8/0.6m ³ 吊能力2.9t
Wタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 25t吊・排出ガス対策型(2014年規制)

注) バックホウ（クローラ型）、ラフテレーンクレーンは賃料とする。

機 械 名	規 格	指 定 事 項	摘 要
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基 準値)山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	【設置・撤去共通】 運転労務数量→0.25 燃料消費量→18 機械賃料数量→1.02	

4-3-4 設置・撤去歩掛

(1) Pタイプの設置・撤去歩掛

Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。

施工単価コード	J 2 0 3 2 0
(100m ² 当たり)	

名 称	単 位	数 量	摘 要
世 話 役	人	1.2	
普 通 作 業 員	人	5.0	
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6	

注) 仮囲いの面積算出にあたっては、「4-6 雪寒仮囲い費数量算出基準」を参照のこと。

(2) Wタイプの設置・撤去歩掛

Wタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。

施工単価コード	J 2 0 3 2 2
(100m ² 当たり)	

名 称	単 位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)
世 話 役	人	2.2	1.2
と び 工	人	10.1	4.5
普 通 作 業 員	人	7.5	2.8
ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2

注) 1 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。

2 「枠組足場部」は、構造物天端の高さまでであり、「枠組足場以外」は、構造物天端以上の屋根部分とする。(「4-3-5 防寒仮囲い費数量算出基準」を参照)

3 上記歩掛は、足場を兼用とした仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用できない場合の足場は必要数量を別途計上する。

4-3-5 雪寒仮囲い費数量算出基準

雪寒仮囲いの数量算出においては、下記を標準とする。

なお、数量算出基準の囲い面積とは、壁面及び屋根部の計5面の外面積を対象としている。

4-3-5-1 Pタイプ

(1) Pタイプ (標準タイプ)

$$S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + B_1 \times (H_1 + H_2) \quad (m^2)$$

- S : 囲い面積 (m²)
- b : 対象構造物の幅 (m)
- ℓ : 対象構造物の長さ (m)
- h : 対象構造物の高さ (m)
- h' : 余裕高 (m) (4-3-1-(8)による)
- b' : 余裕幅 (m) (下表「ブロック実質量別余裕幅」による)
- B₁ : 囲いの底面の幅 (m)

$$B_1 = b + b' \times 2$$
- B₂ : 囲いの屋根の幅 (m)

$$B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$$
- L : 囲いの長さ (m)

$$L = \ell + b' \times 2$$
- H₁ : 囲いの低い方の側面の高さ (m)

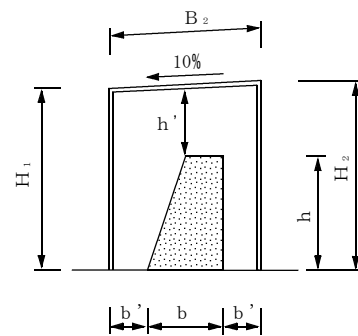
$$H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$$
- H₂ : 囲いの高い方の側面の高さ (m)

$$H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$$

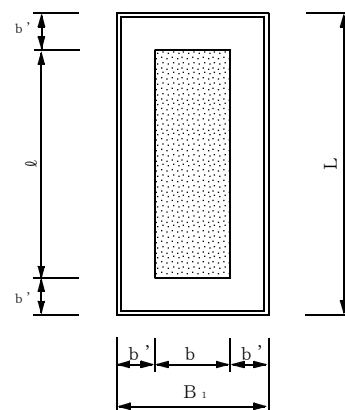
※ブロック実質量別余裕幅 (b')

ブロック実重量 (t)	4.6t未満	4.6t以上16.0t未満	16.0t以上80.8t未満
余裕幅 (m)	0.6m	0.9m	1.2m

(断面図)



(平面図)



4-3-5-2 Wタイプ

$$S_1 = \{2 \times (b + 1) + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4\} \times h \quad (\text{m}^2)$$

$$S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) \quad (\text{m}^2)$$

S_1 : 枠組足場面積 (m²)

S_2 : 枠組足場以外の面積 (m²)

b : 対象構造物の幅 (m)

l : 対象構造物の長さ (m)

h : 対象構造物の高さ (m)

h' : 余裕高 (m) (3-1-(5)による)

B_1 : 囲いの底面の幅 (m)

$$B_1 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$$

B_2 : 囲いの屋根の幅 (m)

$$B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$$

L : 囲いの長さ (m)

$$L = 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$$

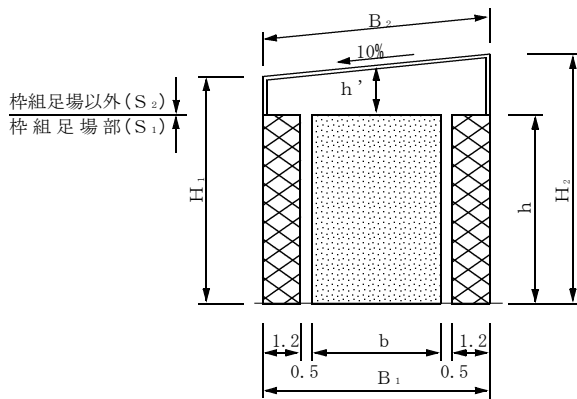
H_1 : 囲いの低い方の側面の高さ (m)

$$H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$$

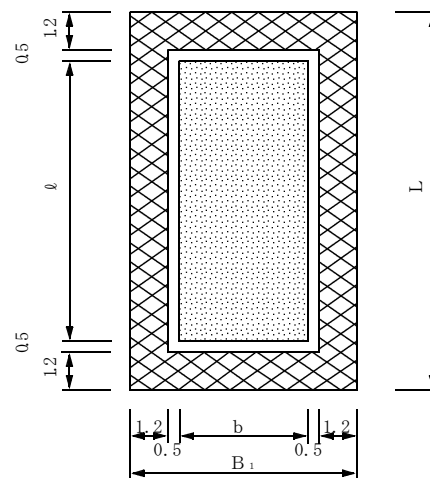
H_2 : 囲いの高い方の側面の高さ (m)

$$H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$$

(断面図)



(平面図)



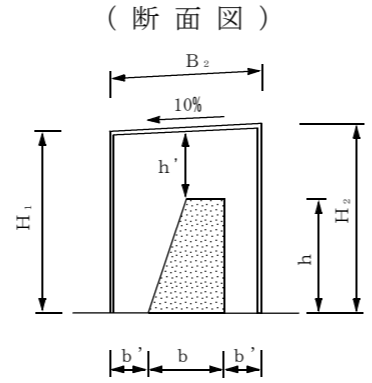
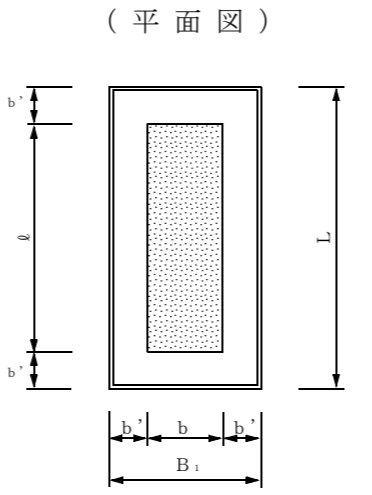
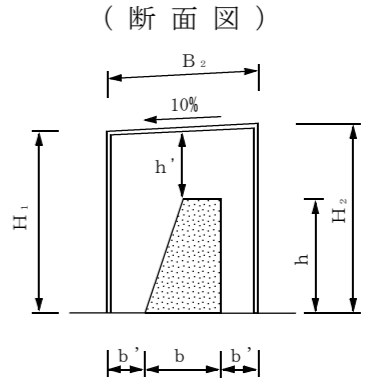
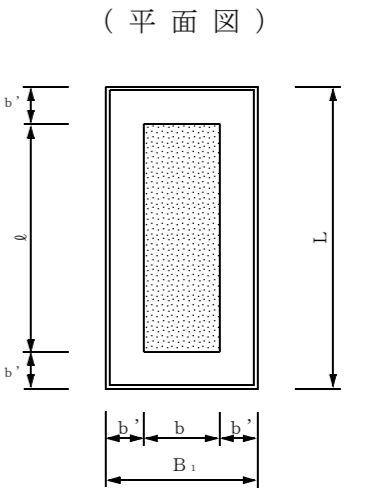
水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準

新旧対照表

北海道水産林務部水産局漁港漁場課

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和7年10月） 新旧対照表（令和8年8月1日以降積算基準日適用）

掲載頁	旧	新	摘要																																																																																
第3章 直接工事費の施工歩掛 3節 仮設工 P3-3-10	<p>4-3-4 設置・撤去歩掛 (1) Pタイプの設置・撤去歩掛 Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 施工単価コード J20320 (100m²当たり)</p> <table border="1" data-bbox="335 373 1442 506"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>22</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2 仮囲いの面積算出にあたっては、「4-6 雪寒仮囲い費数量算出基準」を参照のこと。</p> <p>(2) Wタイプの設置・撤去歩掛 Wタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。 施工単価コード J20322 (100m²当たり)</p> <table border="1" data-bbox="335 646 1442 810"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>枠組足場部 (S₁)</th> <th>枠組足場以外 (S₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>人</td> <td>9.6</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>6.7</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td>26</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。 2 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 3 「枠組足場部」は、構造物天端の高さまでであり、「枠組足場以外」は、構造物天端以上の屋根部分とする。(「4-3-5 防寒囲い費数量算出基準」を参照) 4 上記歩掛は、コンクリート打設用足場を兼用とした仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用できない場合の足場は別途必要量を計上する。</p>	名称	単位	数量	摘要	世話役	人	1.1		普通作業員	人	4.7		バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6		諸雑費率	%	22		名称	単位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)	世話役	人	2.2	1.1	とび工	人	9.6	4.5	普通作業員	人	6.7	2.5	ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2	諸雑費率	%	26	14	<p>4-3-4 設置・撤去歩掛 (1) Pタイプの設置・撤去歩掛 Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 施工単価コード J20320 (100m²当たり)</p> <table border="1" data-bbox="1543 373 2650 485"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 仮囲いの面積算出にあたっては、「4-6 雪寒仮囲い費数量算出基準」を参照のこと。</p> <p>(2) Wタイプの設置・撤去歩掛 Wタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。 施工単価コード J20322 (100m²当たり)</p> <table border="1" data-bbox="1543 646 2650 779"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>枠組足場部 (S₁)</th> <th>枠組足場以外 (S₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>人</td> <td>10.1</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>7.5</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。 2 「枠組足場部」は、構造物天端の高さまでであり、「枠組足場以外」は、構造物天端以上の屋根部分とする。(「4-3-5 防寒囲い費数量算出基準」を参照) 3 上記歩掛は、足場を兼用とした仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用できない場合の足場は必要数量を別途計上する。</p>	名称	単位	数量	摘要	世話役	人	1.2		普通作業員	人	5.0		バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6		名称	単位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)	世話役	人	2.2	1.2	とび工	人	10.1	4.5	普通作業員	人	7.5	2.8	ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2	記載の修正
名称	単位	数量	摘要																																																																																
世話役	人	1.1																																																																																	
普通作業員	人	4.7																																																																																	
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6																																																																																	
諸雑費率	%	22																																																																																	
名称	単位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)																																																																																
世話役	人	2.2	1.1																																																																																
とび工	人	9.6	4.5																																																																																
普通作業員	人	6.7	2.5																																																																																
ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2																																																																																
諸雑費率	%	26	14																																																																																
名称	単位	数量	摘要																																																																																
世話役	人	1.2																																																																																	
普通作業員	人	5.0																																																																																	
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6																																																																																	
名称	単位	枠組足場部 (S ₁)	枠組足場以外 (S ₂)																																																																																
世話役	人	2.2	1.2																																																																																
とび工	人	10.1	4.5																																																																																
普通作業員	人	7.5	2.8																																																																																
ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2																																																																																

掲載頁	旧	新	摘要																
P3-3-11	<p>4-3-5-1 Pタイプ (1) Pタイプ（標準タイプ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + B_1 \times (H_1 + H_2) + B_2 \times L \times (\text{打設回数} - 1) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) l : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h' : 余裕高 (m) (4-3-1-(8)による) b' : 余裕幅 (m) (下表「ブロック実質量別余裕幅」による) B₁ : 囲いの底面の幅 (m) $B_1 = b + b' \times 2$ B₂ : 囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 囲いの長さ (m) $L = + b' \times 2$ H₁ : 囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H₂ : 囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$</p> <p>※ブロック実質量別余裕幅 (b')</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ブロック実重量 (t)</th> <th>4.6t未満</th> <th>4.6t以上16.0t未満</th> <th>16.0t以上80.8t未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余裕幅 (m)</td> <td>0.6m</td> <td>0.9m</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>(断面図)</p>  <p>(平面図)</p> </div>	ブロック実重量 (t)	4.6t未満	4.6t以上16.0t未満	16.0t以上80.8t未満	余裕幅 (m)	0.6m	0.9m	1.2m	<p>4-3-5-1 Pタイプ (1) Pタイプ（標準タイプ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + B_1 \times (H_1 + H_2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) l : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h' : 余裕高 (m) (4-3-1-(8)による) b' : 余裕幅 (m) (下表「ブロック実質量別余裕幅」による) B₁ : 囲いの底面の幅 (m) $B_1 = b + b' \times 2$ B₂ : 囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 囲いの長さ (m) $L = + b' \times 2$ H₁ : 囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H₂ : 囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$</p> <p>※ブロック実質量別余裕幅 (b')</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ブロック実重量 (t)</th> <th>4.6t未満</th> <th>4.6t以上16.0t未満</th> <th>16.0t以上80.8t未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余裕幅 (m)</td> <td>0.6m</td> <td>0.9m</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>(断面図)</p>  <p>(平面図)</p> </div>	ブロック実重量 (t)	4.6t未満	4.6t以上16.0t未満	16.0t以上80.8t未満	余裕幅 (m)	0.6m	0.9m	1.2m	記載の修正
ブロック実重量 (t)	4.6t未満	4.6t以上16.0t未満	16.0t以上80.8t未満																
余裕幅 (m)	0.6m	0.9m	1.2m																
ブロック実重量 (t)	4.6t未満	4.6t以上16.0t未満	16.0t以上80.8t未満																
余裕幅 (m)	0.6m	0.9m	1.2m																

掲載頁	旧	新	摘要
P3-3-12	<p>4-3-5-2 Wタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = \{2 \times (b + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4)\} \times h \quad (\text{m}^2)$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) + B_2 \times L \times (\text{打設回数} - 1) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (m²) S_2 : 枠組足場以外の面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h' : 余裕高 (m) (3-1-(5)による) B_1 : 囲いの底面の幅 (m) $B_1 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ </p> <p> B_2 : 囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 囲いの長さ (m) $L = +0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ H_1 : 囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H_2 : 囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$ </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(断面図)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(平面図)</p> </div> </div>	<p>4-3-5-2 Wタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = \{2 \times (b + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4)\} \times h \quad (\text{m}^2)$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (m²) S_2 : 枠組足場以外の面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h' : 余裕高 (m) (3-1-(5)による) B_1 : 囲いの底面の幅 (m) $B_1 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ </p> <p> B_2 : 囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 囲いの長さ (m) $L = +0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ H_1 : 囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + h' - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H_2 : 囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + h' + (B_1 \div 2) \times 0.1$ </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(断面図)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(平面図)</p> </div> </div>	記載の修正